

企画広報委員会 イベント企画分科会 2023 結果および 2024 計画・組織

組織 計 8名 * 順不同・敬称略

メンバー	氏名	支部	理事/ 会員	所属・メールアドレス
委員長	福永 成明	東日本	理事	ファッションリンクス
分科会長	平井 秀樹	本部	理事	国際ファッション専門職大学
事務長	内海 里香	本部	理事	文化ファッション大学院大学
委員	山口 大人	本部	理事	MASATOYAMAGUCHI DESIGNOFFICE 代表/デザイナー
委員	山岡 真理	本部	会員	文化ファッション大学院大学
委員	播岡 充	関西	会員	大阪文化服装学院
委員	木村 千晶	東日本	会員	杉野学園ドレスメーカー学院
委員	杉浦 佳苗	本部	会員	文化学園大学

活動報告

目標	活性化の一環として、主として学生・新規会員の獲得・会員メリットの訴求・会員の研究活動に資するイベントの企画運営を行う
2023 結果	<p>・夏休み 8 月と春休み 3 月の年間計 2 回、産地研修を実施 →8/21 (月)・22 日 (火) : 滋賀県東近江産地、2024. 3/25 (月)・26 (火) : 群馬県桐生産地の産地研修を実施。8 月の東近江研修では、柿渋染の工房、染色、整経 (近江上布)、製織等の事業所を見学した翌日に、各事業所の方々と東近江市商工会の方も交えて、ワークショップを行い、産地・各事業所が抱える様々な課題の解決方法に関して活発な意見交換を行った。</p> <p>また、3 月の桐生研修では、織物協同組合専務理事より織都 : 桐生の歴史と現況についてご講義頂いたのち、ハンドルミシンを使った手刺繍や生糸の工房、絹織、独自のジャカード織を開発している事業所などを見学した。桐生産地では、事業所見学だけでなく、機織りや座繰り、藍染めなどの体験も研修プログラムに取り入れたため、非常に好評を博した。</p> <p>この産地研修ツアーは、2 年目を終えた現在、参加動機は異なるものの、まずリピーターが多く、参加者同士の交流も活発化しており、この研修によって繋がった事業所と参加者の所属機関によるコラボレーションや参加者の個別研究テーマを踏まえての再訪が行われるなど、学会によるファッション知財の創造に対して確実に貢献、成果を生み出している。</p> <p>・夏休み 8 月に実施される学生アワードの運営サポート →学生アワードについては、2023 年度からイベント企画分科会の手を離れ、本部で立ち上げる実行委員会による運営となっているが、イベント企画分科会の委員が、最終審査会で司会を務めたり、進行のお手伝いをしたりするなど、側面からの協力を行っている。</p> <p>学生会員の増加、若者ならではのファッション知財の創造によるファッションビジネス学会の活性化は、委員会・分科会の枠に囚われることなく、組織の一員として取り組むべき課題と考えて活動を行った。</p>
2024 計画	<p>・夏休み 8 月と春休み 3 月の年間計 2 回、産地研修を継続して実施予定。 →研修候補地としては①泉州、②八王子、③桐生 (第 2 弾) などの名前が挙がっているが、現時点では未定である。2024 年度は単に各産地の主要事業所の見学にとどまらず、ファッション</p>

<p>産業の新技术（デジタルプリントなど）に関しても、研修先に組み込んでいく。また、企業や行政等とのディスカッションなども継続して行い、産地研修内容の一層の充実・質の向上に取り組んでいく。</p>
--

以上